



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月26日

上場会社名 株式会社 平和堂 上場取引所 東  
 コード番号 8276 URL <http://www.heiwado.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 夏原 平和  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 竹中 昭敏 (TEL) 0749(23)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月27日 配当支払開始予定日 平成25年11月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	196,497	1.1	6,205	13.8	6,455	16.8	4,386	56.8
25年2月期第2四半期	194,298	1.6	5,451	0.3	5,528	1.4	2,798	35.6

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 6,065百万円( 92.1%) 25年2月期第2四半期 3,157百万円( 50.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	79.39	—
25年2月期第2四半期	50.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	287,511	122,367	41.8
25年2月期	278,806	117,063	41.2

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 120,117百万円 25年2月期 114,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	12.00	—	13.00	25.00
26年2月期	—	12.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	406,000	3.4	13,700	11.4	13,900	8.1	7,000	26.6	126.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	58,546,470株	25年2月期	58,546,470株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	3,291,525株	25年2月期	3,291,289株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	55,255,057株	25年2月期2Q	55,255,516株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）におけるわが国経済は、新政権の経済政策による公共投資増や輸出の持ち直し、円安・株高基調により景気は緩やかな回復傾向を見せたものの、新興国経済の下振れ、電力料金の値上げ等不安定なまま推移いたしました。

当小売業界におきましても、業種・業態を越えた競合激化、原材料の高騰、節約志向が継続するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、「株式会社平和堂」は、お客様満足度を向上させるために、際立った売場、商品、サービスの改革を行い、他社との差異化に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,964億97百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益62億5百万円（前年同期比13.8%増）、経常利益64億55百万円（前年同期比16.8%増）、四半期純利益は、43億86百万円（前年同期比56.8%増）の結果となりました。

事業のセグメント別業績は以下のとおりであります。

#### 『小売事業』

「株式会社平和堂」におきましては、4月に「フレンドマート葛野山ノ内（かどのやまのうち）店」（店舗面積999㎡、京都府京都市）を、8月に「平和堂グリーンプラザ店」（直営面積2,194㎡、愛知県名古屋市）を、いずれもスーパーマーケットタイプの店舗として新設、地域の利便性向上に努めました。既存店では、大型店のアル・プラザ鹿島（石川県鹿島郡）の改装を実施いたしました。

商品面では、衣料品においては、機能性肌着や地産商品を中心とした開発商品の拡販に取り組みました。住居関連品においては、薬品のEDLP政策や寝具・家庭用品における海外開発商品の増加等による粗利益率改善に努めました。食料品においては、お客様ニーズに合わせ付加価値を高めた生鮮品の拡大や加工食品におけるEDLP商品の品目数増、日配品における週替わりでの単品量販商品の販売推進に取り組みました。

販促面では、カード会員様の積極的な募集を実施、合わせて会員様向け販促や優待施設を増やすなど固定客作り・来店客数増に向けた施策を継続して実施いたしました。

買物代行及び暮らしのお手伝い事業においては、新たに2店舗にて開始、地域密着企業としてお客様へのサービスを充実させてまいりました。

また、筋肉質で効率的な会社経営のために、チラシ内容の見直しを始めとする費用減や作業改善の推進による生産性の向上を継続して実施いたしました。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂（中国）有限公司」は、4月に新設した「平和堂中国AUX（奥クス）広場店」が寄与し増収となりましたが、新店費用が嵩み減益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、主力店舗の改装期間中の営業規模縮小もあり減収となりましたが、株式会社平和堂との仕入れ統合や経営管理システムの導入を行い、利益改善をいたしました。

書籍販売業やCD・DVDレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、2店舗を改装しましたが、主力事業のレンタル部門の低迷に歯止めが掛からず、減収・減益となりました。

『小売周辺事業』

精肉・鮮魚及び惣菜、弁当の製造加工業を展開する「株式会社ベストオーネ」は新規商品の販売拡大により、増収・増益となりました。

ビル管理業を展開する「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規取引先の開拓により、増収・増益となりました。

『その他事業』

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、高単価メニューの拡充やサービスレベルの向上や経費の更なる削減により、増収・増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品等が減少したものの、現金及び預金、有形固定資産、無形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ87億5百万円増加して2,875億11百万円となりました。

負債は、長期借入金等の増加等により、前連結会計年度末に比べ34億2百万円増加して1,651億44百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ53億3百万円増加して1,223億67百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、対前連結会計年度末比49億20百万円増加の169億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の増減額が8億50百万円減少、預り金の増減額が2億44百万円減少などによる運転資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益が21億93百万円増加、たな卸資産の増減額が4億88百万円減少したことなどにより、営業活動による資金の収入は対前年同期比2億69百万円増加の132億38百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得については、前年同期より19億19百万円少ない43億60百万円支出した一方、敷金及び保証金の回収による収入が6億69百万円ありました。これらの結果、投資活動による資金の流出は対前年同期比24億24百万円減少の68億41百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入が118億円あった一方、短期借入金の減少が95億55百万円、長期借入金の返済による支出が47億47百万円ありました。これらの結果、財務活動による資金の流出は対前年同期比9億1百万円減少の22億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想数値は、平成25年6月27日公表時より変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,614	20,798
受取手形及び売掛金	4,578	4,865
商品及び製品	18,708	17,349
原材料及び貯蔵品	165	210
その他	6,173	8,733
貸倒引当金	△116	△103
流動資産合計	45,123	51,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,699	85,485
土地	93,659	96,450
その他(純額)	7,376	8,636
有形固定資産合計	187,735	190,572
無形固定資産		
のれん	353	1,368
借地権	5,715	5,943
その他	1,839	1,982
無形固定資産合計	7,908	9,295
投資その他の資産		
投資有価証券	5,173	5,184
敷金及び保証金	24,489	24,221
その他	8,695	6,703
貸倒引当金	△320	△320
投資その他の資産合計	38,037	35,789
固定資産合計	233,682	235,658
資産合計	278,806	287,511

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,469	29,327
短期借入金	29,359	23,886
未払法人税等	2,298	2,687
賞与引当金	1,276	1,302
ポイント引当金	6,643	6,803
利息返還損失引当金	150	119
その他	21,204	24,834
流動負債合計	88,401	88,961
固定負債		
長期借入金	50,512	53,483
退職給付引当金	8,988	9,092
資産除去債務	2,402	2,459
受入敷金保証金	11,053	10,745
その他	382	402
固定負債合計	73,340	76,182
負債合計	161,742	165,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,017	19,017
利益剰余金	87,830	91,498
自己株式	△5,166	△5,166
株主資本合計	113,295	116,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,356
為替換算調整勘定	384	1,796
その他の包括利益累計額合計	1,681	3,153
少数株主持分	2,086	2,249
純資産合計	117,063	122,367
負債純資産合計	278,806	287,511



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
売上高	182,003	184,007
売上原価	128,120	129,648
売上総利益	53,882	54,358
営業収入	12,295	12,489
営業総利益	66,178	66,848
販売費及び一般管理費	60,726	60,643
営業利益	5,451	6,205
営業外収益		
受取利息	251	225
その他	284	288
営業外収益合計	535	513
営業外費用		
支払利息	260	223
為替差損	36	—
その他	161	39
営業外費用合計	458	263
経常利益	5,528	6,455
特別利益		
固定資産売却益	0	502
資産除去債務消滅益	82	0
投資有価証券売却益	8	685
特別利益合計	91	1,187
特別損失		
固定資産除却損	371	126
固定資産売却損	6	40
固定資産撤去費用	—	54
減損損失	0	11
その他	25	0
特別損失合計	403	233
税金等調整前四半期純利益	5,216	7,410
法人税、住民税及び事業税	1,980	2,783
法人税等調整額	302	110
法人税等合計	2,283	2,893
少数株主損益調整前四半期純利益	2,932	4,516
少数株主利益	134	129
四半期純利益	2,798	4,386

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,932	4,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	60
為替換算調整勘定	188	1,488
その他の包括利益合計	224	1,548
四半期包括利益	3,157	6,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,012	5,858
少数株主に係る四半期包括利益	144	206

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,216	7,410
減価償却費	5,210	5,209
のれん償却額	24	20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	135	103
受取利息	△251	△225
支払利息	260	223
固定資産除却損	371	126
資産除去債務消滅益	△82	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△20	△201
たな卸資産の増減額(△は増加)	922	1,411
仕入債務の増減額(△は減少)	2,131	1,281
預り金の増減額(△は減少)	1,245	1,001
その他	453	△700
小計	15,617	15,660
利息及び配当金の受取額	212	251
利息の支払額	△263	△231
法人税等の支払額	△2,598	△2,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,968	13,238
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△728	254
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,280	△4,360
短期貸付けによる支出	△1,899	△2,256
短期貸付金の回収による収入	1,227	104
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△635	—
長期前払費用の取得による支出	△220	△1,342
敷金及び保証金の差入による支出	△1,170	△62
敷金及び保証金の回収による収入	735	669
その他	△294	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,266	△6,841
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,946	△9,555
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	2,000	1,000
長期借入れによる収入	9,600	11,800
長期借入金の返済による支出	△7,913	△4,747
配当金の支払額	△828	△718
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△17	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,107	△2,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	701	4,920
現金及び現金同等物の期首残高	13,323	12,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,024	16,995

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。